

北海道開発局事業審議委員会（令和5年度第3回） 審議案件一覧【再評価】《港湾事業》

	事業名	再評価理由	上段：前回再評価 下段：今回再評価	事業の概要	事業期間		全体事業費 (億円)	進捗率 ※1	事業の効果等	費用便益比 全体 B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針 (案)	対応方針(案)決定の理由	備考
					事業化 年度	完了予定 年度										
再~5	石狩湾新港東地区国際物流ターミナル整備事業	社会経済情勢等の変化	前回 (R2)	岸壁や航路・泊地等の整備により、貨物需要の増大や船舶の大型化に対応し、物流コストの削減を図る。	R3	R8	92	-	(定量的な効果) ・輸送コスト削減効果（鉄スクラップ/バイオマス燃料（PKS）） ・残存価値	2.1	74	156	対応方針（原案）については、特段の意見はございません。 石狩湾新港は、道民生活と企業活動を支える物流拠点としての重要な役割を担っています。また、近年では関連する企業活動の活発化により、リサイクルポートやエネルギー供給拠点として、その果たす役割は益々大きなものとなっています。 輸出先の遠方化が進む鉄スクラップや木質バイオマス発電所の発電燃料の効率的かつ安定的な大量輸送に必要となる大水深岸壁などの整備が必要不可欠です。 事業継続と早期供用につきまして、格別の御高配をいただきますようお願い申し上げます。	継続	事業の必要性や重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	重点審議 (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
			今回 (R5)	同上	R3	R10	174	25%	同上	1.6	148	240				
再~6	浦河港本港地区防波堤整備事業	再評価後5年	前回 (H30)	防波堤の整備により、港内静穏度を向上させることで、安定的な荷役機能確保し、物流コストの削減を図るとともに、本港沖合を航行する貨物船の避難に必要な避泊水域の確保を図る。	H7	H37	102	73%	(定量的な効果) ・陸上輸送コストの削減 ・海難の減少 ・残存価値	1.5	163	252	対応方針（原案）については、特段の意見はございません。 浦河港の主要取扱貨物であるかんらん岩について、中国産かんらん岩の輸入減などを背景に、近年取扱量が増加傾向となっています。また、浦河港は、災害時における緊急物資等の海上輸送拠点としても位置づけられており、重要な役割を担っています。 今後も安定した荷役機能の確保、港内の船舶利用の安全性の向上のために、より一層の港内静穏度向上が必要であり、その対策は必要不可欠です。 事業継続につきまして、格別の御高配をいただきますようお願い申し上げます。	継続	事業の必要性や重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	重点審議 (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 (R5)	同上	H7	R11	112	75%	同上	1.2	235	287				
再~7	奥尻港本港地区地域生活基盤整備事業	再評価後5年	前回 (H30)	物揚場や防波堤等の整備により、小型船の作業効率化、本港沖合を航行する貨物船の避難に必要な避泊水域の確保を図るとともに、防災緑地の整備により、災害時の防災拠点を形成する。	H13	H36	80	80%	(定量的な効果) ・滞船・多そう係留作業解消コストの削減 ・船舶の待避コストの削減 ・海難の減少 ・防風施設整備に伴う作業コストの削減 ・フェリー就航率向上効果 ・残存価値	2.3	120	278	対応方針（原案）については、特段の意見はございません。 奥尻港は、島民の生活物資の輸送、奥尻観光を支えるフェリーの拠点となっています。また、本港の沖合を航行する貨物船等の避難港としても利用されています。 船舶の安全な避泊水域の確保、小型船の混雑解消のため、防波堤、小型船だまりの整備は極めて重要であります。 事業継続につきまして、特段のご配慮をお願い申し上げます。	継続	事業の必要性や重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	重点審議 (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
			今回 (R5)	同上	H13	R11	84	85%	同上	1.6	174	280				

※1 進捗率は、それぞれの全体事業費に対する進捗率を示す

重点審議案件

- ◆重点審議案件の選定要件
- (a) 事業計画が顕著に変更された事業
 - (b) 推定便益が顕著に減少する事業
 - (c) 推定事業費が顕著に増加する事業
 - (d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業
 - (e) その他の要因